

【東京ダイナマイト・ハチミツ二郎×東京キララ社】 コンビニでの成人誌販売中止を背景に風前の灯 絶滅危惧カルチャー『エロ本』出版プロジェクト

株式会社MOTION GALLERY（本社：東京都港区／代表取締役：大高健志）は、東京ダイナマイト・ハチミツ二郎、東京キララ社による「エロ本」出版プロジェクトを実施いたします。

今回のプロジェクトは、2020年の東京五輪・パラリンピックを控え、8月末に一齐にコンビニ大手から成人向け雑誌の販売を原則終了（一部、加盟店判断で継続）した背景から、“カルチャー”としての「エロ本」を残すために立ち上がったプロジェクトです。グラビアには、アイドル、アーティスト、セクシー女優等を予定、コラム・対談には芸人、ライターを招聘します。他、特集記事ではノスタルジーから現代のエロカルチャーまで様々ご用意。巻末には、ハチミツ二郎が「童貞のまま死ぬな」をテーマに一文を寄せます。制作が進んでいく過程はコレクター限定アップデートでもお知らせしてまいります。

▼プロジェクトページ (<https://motion-gallery.net/projects/erohonpj>)



メインビジュアル



左：東京キララ社・中村保夫氏

右：東京ダイナマイト・ハチミツ二郎氏

今の若い世代は、ネットの普及により、エロがよりファストに済まされています。そのため、雑誌としてのエロ本は激減。普通の雑誌と挟んで買う、自販機をのぞいてみる、河原に落ちているものを持って帰る、、親にバレないように隠し場所を試行錯誤し、苦勞して手に入れた「エロ本」は今、絶滅の危機を迎えています

思わず読んでしまう活字コンテンツや、旨いメシ屋情報など、バカバカしさと共に意外な教養がライトに混在していました。「エロ本」を経て、男の子がコッソリと人間掲載していた背景もあると言えるでしょう。このままカルチャーとしてのエロ本を殺すわけにはいかない。ムック本を気軽に取ってほしいコンセプトから当クラウドファンディングプロジェクトを実施し、東京キララ社が絶滅危惧カルチャーに手を差し伸べ、アーカイブ、ハチミツ二郎氏自らが責任編集を行い、「エロ本」を創刊します。

東京ダイナマイト・ハチミツ二郎氏によるメッセージ

学校では教えてくれないこと お父さんお母さんが教えてくれないこと
お兄ちゃんお姉ちゃんが教えてくれないこと それをエロ本が教えてくれた。
エロ本がなくなったら日本男子がダメになる。オレたち変なおじさんがエロ本を通じてそれを教えていく！

東京キララ社・中村保夫氏によるメッセージ

僕らの世代にとっての「エロ本」は性的な欲求を満たすためだけのものではなく、知られざるカルチャーへの扉でもあった。青少年の健全な育成に欠かせない「エロ本」が消滅しようとする危機に、僕らが勃ち上がる。

クラウドファンディング概要

プロジェクト名：東京ダイナマイト・ハチミツ二郎責任編集、「エロ本」出版プロジェクト！！

期間：実施中～11月25日23:59まで

目標金額：100万円（撮影、編集、デザイン、スタジオ代、広告費など）

リターン：エロ本プレゼント、クレジットにサポーターとして表記、出版パーティーご招待、女性限定グラビア撮影3ページ、誌面出演 など

プロジェクトページ：<https://motion-gallery.net/projects/erohonpj>

▼「エロ本」仕様 ※予定

予定判型：A5並製

予定ページ数：128ページ（うちカラー63ページ）

予定初版部数：5,000部

予定価格：1,500円（税別）

ハチミツ二郎（はちみつじろう）氏プロフィール

1974年生まれ。岡山県出身。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。相方・松田大輔とのお笑いコンビ「東京ダイナマイト」のツッコミ担当。「M-1グランプリ」「THE MANZAI」等賞レースでは度々決勝に進出。お笑いプロレス団体「西口プロレス」の所属レスラーとしても活動しており、メキシコでプロレスラー（ルチャリブレ）のライセンスも取得している。



中村保夫氏プロフィール

1967年、神田神保町の製本屋に生まれる。早稲田高校卒業後、2001年に東京キララ社を立ち上げ、「マーケティングなんか糞食らえ！」をスローガンに、誰も踏み込めなかったカルチャーを書籍化し続ける。書籍編集者以外にもDJ、映像作家として幅広く活動。



画像一式ダウンロード <https://bit.ly/2IEIM00>